

人間関係講座（グループ）第76回 [春]

-グループの中での人間関係の理解のために- 基礎コース

担当者	津村 俊充（南山大学人文学部心理人間学科教授） 金田 裕子（南山大学人文学部心理人間学科講師）
概要	<p>この講座は、「体験学習」という方法を用いて、グループの人間関係について学んでいくものです。ラボラトリー方式の体験学習の入門講座として設定しています。1つの講座は2日間のプログラムで構成しています。</p> <p>私たちは、会社や組織、家族や仲間関係など、常にグループの中に身を置いています。「グループの中の人間関係は複雑で難しい」ということをよく聞きます。その理由の1つとして、グループで何らかの仕事や課題に取り組む場合に、話や課題の内容（コンテンツ）に夢中になり、他者の気持ちやお互いの関係（プロセス）に目が向けられず、いつの間にかお互いの思いにズレが生じることが考えられます。</p> <p>この講座は、以下の学習目標に向けて実施します。</p> <ol style="list-style-type: none">①グループの中で他者と関わる自分の特徴に気づく②「コンテンツ」と「プロセス」とは何かを理解する③グループの中での人間関係（グループプロセス）に目を向ける重要性に気づく <p>この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習（典型的な実習）と、グループに関する理論の小講義によって学習を深めていきます。グループの人間関係について理解を深めたい方、ラボラトリー方式の体験学習について知りたい方など、さまざまな方にお勧めです。</p> <p>なお、この講座（または過去の人間関係講座<グループ>）を修了された方を対象に、グループの人間関係をさらに深く学ぶための「グループプロセス応用講座」が開催されます。（詳しくはこちらをご覧ください）</p>
日程	2009年5月30日（土）10：00～18：00 5月31日（日）9：00～17：00 土日集中
定員	36名
会場	南山大学 D棟
受講料	11,200円（税込）
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 金田 裕子 記</p> <p>5月30日～31日に行なわれた人間関係講座では、全国各地から34名の方々が参加され、受講生の皆さんの知りたい、つかみたい、学びたい、という思いが重なりあい、体験と学びが凝縮された二日間となりました。</p> <p>一日目のオープニングでは、一人ひとりがこの二日間のねらいづくりをし、少人数でシェアを行ないました。受講生の皆さんが動き、交流を始めると、緊張や不安、期待の入り混じった教室に、安心と活気が生まれました。午後は5～6人のグループで、プロセスに気づいたり、体験から学ぶサイクルを意識したりする、二つの実習に取り組みました。</p> <p>二日目は新しいグループで、複雑なブロックモデルを再現したり、コンセンサス（合意）をめざしたり、前日より難しく長時間にわたる実習に挑戦しました。どのグループも熱心に取り組み、実習後のシェアリングでも、実習中の出来事や仲間の様子、自らの思いなど、休憩時間も惜しんで伝えあい、考えあう姿が見られました。</p> <p>私自身も、学びあう皆さんの姿から、改めてプロセスの面白さと奥深さを感じることとなりました。</p>